

研究に関する情報公開（オプトアウト）

作成日：2026年2月3日

研究課題名

新しい Dual Mobile 人工股関節の経験 Experience with New Dual Mobile THA

研究機関および研究責任者

奈良県西和医療センター 整形外科

研究責任者：川手健次

研究の背景と目的

一昨年日本で開発され京セラから販売され使用可能となった人工股関節の使用経験を英文にして世界に報告します

従来の人工股関節はポリエチレンと骨頭という一面で動くので動く最大角度は制限されますが、フランスで開発され海外メーカーから供給されている2面で動く人工関節（ポリエチレンと骨頭の間+臼蓋とポリエチレンの間）は可動域がかなり広がり、脱臼率が低下しています。しかし小柄で臼蓋形成不全症が多い日本人患者さんに使えないことがあります。一昨年使用可能となった外径46mmの臼蓋でも使用できる京セラの人工股関節は正座の習慣がある日本人のみならず、坐礼することが多いアジア人やイスラム教の患者にも朗報であり、英文で広く世界に伝えることが必要と考えます。

研究対象

2025年7月1日～2025年12月8日の期間におこなった人工股関節の患者さんの診療情報を対象とします。

利用する情報

年齢、性別、身長、体重、BMI、術前術後点数、術前術後可動域、結果、など、診療録に基づく既存の情報を用います。患者さんの指名など、個人を特定できる情報は提供いたしません。

個人情報の取り扱い

取得した情報は匿名化し、個人を特定できる情報は取り扱うことはありません。データは厳重に管理され、研究目的以外には使用しません。

研究参加を望まれない場合

本研究に情報を利用されることを望まれない場合は、以下の問い合わせ窓口までご連絡ください。その場合でも診療などに不利益は一切ありません。

問い合わせ窓口

奈良県西和医療センター 整形外科

研究責任者：川手健次